

TVCM 放映中

NEW クレラップ® にしませんか？

1 食品をキチンと保存！



おいしい食材や料理を、
おいしいまま、キチンと保存！
今日のおいしさ 明日そのままいただけます。
食品をおいしく、ムダを省いて保存できます。

毎日おいしいのは NEW クレラップ®

NEWクレラップを
もっと知って！
便利に使って！



2 電子レンジに つよい！



電子レンジで、
お料理を手早く、かしこく！
熱に強いから、電子レンジとなかよし！
レンジをかしこく使いこなしちゃおう。

3 ニオイもれ にくい！



おいしいにおいが、
イヤなおいにならないように！
うちの冷蔵庫はいつもスッキリ、
快適。いい香りは逃さず、
イヤなおいは防ぎます。

4 丈夫で切り やすい！



切って実感！
“強さ”は“使いやすさ”
パツと切れて、ピタツと包める。
これってすごく大切。
時間もラップも大切に。

5 使い やすい！



毎日使うものだから、
ムダなく手際よく！
「進化するラップ」
NEWクレラップは、パッケージにも
ヒミツがいっぱい。

NEWクレラップ 検索
<http://kurelife.jp>

当社サイト「キッチンさんのクレライフ」では、電子レンジを使った簡単レシピや、おいしくムダなく食品を保存するアイデアなど、今日から使えて、キッチンライフを豊かにする情報をたくさん紹介しています。ぜひ、ご覧ください。



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

株式会社クレハ
KUREHA CORPORATION



KUREHA REPORT

クレハレポート

第100期 期末報告書
(2012年4月1日～2013年3月31日)

証券コード：4023

株式会社クレハ
KUREHA CORPORATION

トップメッセージ

環境の変化に適応して 成長を実現

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
当社第100期期末（2012年4月1日から2013年3月31日まで）の「クレハレポート」をお届けします。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2013年6月

代表取締役社長 **小林 豊**

当期の概況について

当期のわが国経済は、復興需要による下支えに加え、円高の是正などによる景気回復の兆しもみられたものの、欧州債務危機や中国経済の成長鈍化の影響等もあり、当社グループを取り巻く経営環境は引き続き厳しいものとなりました。

当社グループはこのような状況のもと、2012年度を初年度とする「中期経営計画GROW GLOBALLY-II」

(以下、「中計GG-II」)に基づき、既存事業のグローバル展開と新規事業の成果実現を目指して事業を推進してまいりました。

当期の連結売上高は1,305億50百万円、営業利益は84億58百万円、経常利益は65億70百万円となりました。当期純利益は災害損失を計上した前期に比べ増加し32億12百万円となりました。

配当金は、当初の予定通り1株につき年間10円といたしました。

「中計GG-II」の初年度を終えて

既存事業のグローバル展開と新規事業の成果実現を目指して策定した「中計GG-II」は、太陽光発電市場やリチウムイオン二次電池市場での需要低迷を主な要因として、策定当初の計画値から乖離が生じてきております。すでに事業環境が大きく変化した分野については、事業戦略の抜本的な見直しを行い、新たな事業シナリオでの運営を開始しております。

2013年度の重点的な取組み

わが国経済は金融緩和や各種経済対策の効果による景気の持ち直しが期待され、世界経済も次第に回復の度合いを高めていくものの、当社グループを取

り巻く経営環境は緩やかな改善にとどまるものと予想しております。

2013年度は、将来の成長拡大に向けて、経営基盤を強固にする年として位置づけております。この4月には社長直轄の「改革推進プロジェクト」を立ち上げ、コスト競争力の強化とグローバル人材の育成に取り組んでおります。一方、「中計GG-II」による運営が2年目を迎えた中、経営の方向性に大きな変更はないものの、事業環境の変化を反映した新たな定量計画を策定していく予定です。

将来を見据えて

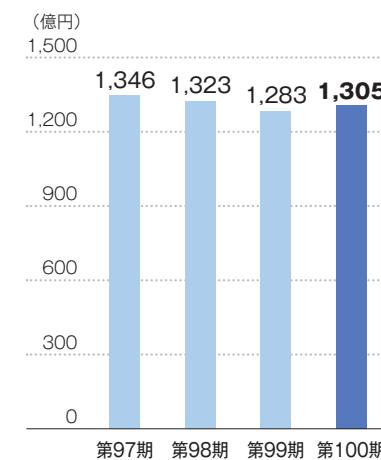
ここ数年経営資源をリチウムイオン二次電池用負極材やPGA樹脂の応用開発に集中してきたことで、これら事業のあり姿が見えてまいりました。今後は、将来のクレハを支える“タネ”を探すべく、当社の基盤技術を活用した探索研究を充実させてまいります。

社内に浸透させてきた“パッション（情熱）”と“スピード”をもって、ありたい姿としての「エクセレント・カンパニー」に向かってこれからも挑戦を続けてまいります。

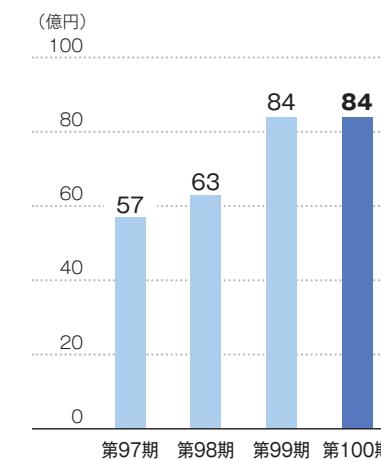
連結財務ハイライト

科目	第97期	第98期	第99期	第100期
売上高 (億円)	1,346	1,323	1,283	1,305
営業利益 (億円)	57	63	84	84
経常利益 (億円)	54	56	78	65
当期純利益 (億円)	15	6	14	32
1株当たり当期純利益 (円)	8.8	4.0	8.5	18.7
総資産 (億円)	1,846	1,817	1,862	2,052
純資産 (億円)	968	895	885	962
1株当たり純資産額 (円)	538.1	517.5	510.4	546.7
自己資本比率 (%)	52.2	48.9	47.0	45.7
自己資本利益率(ROE) (%)	1.6	0.7	1.7	3.5

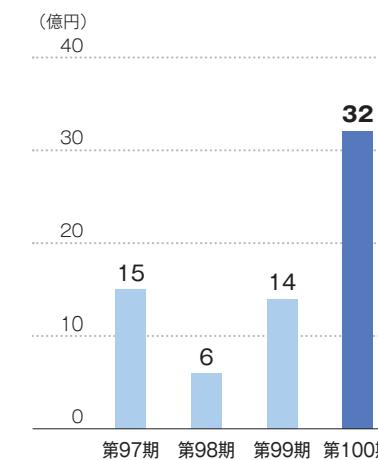
●売上高



●営業利益



●当期純利益



2013年6月25日
東京都中央区日本橋浜町3-3-2

株式会社クレハ

代表取締役社長 小林 豊

第100回 定時株主総会決議ご通知

拝啓 平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、6月25日開催の第100回定時株主総会において、下記のとおり報告ならびに決議されましたので、ご通知申し上げます。

敬 具

記

報告事項

- 第100期（2012年4月1日から2013年3月31日まで）事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
- 第100期（2012年4月1日から2013年3月31日まで）計算書類報告の件

決議事項

第1号議案 取締役6名選任の件

本件は、原案のとおり承認可決され、小林 豊、宗像敬吉、佐川 正、松尾修介の4名が再選、重任し、竹田恆治、馬谷成人の2名が新たに選任、就任いたしました。

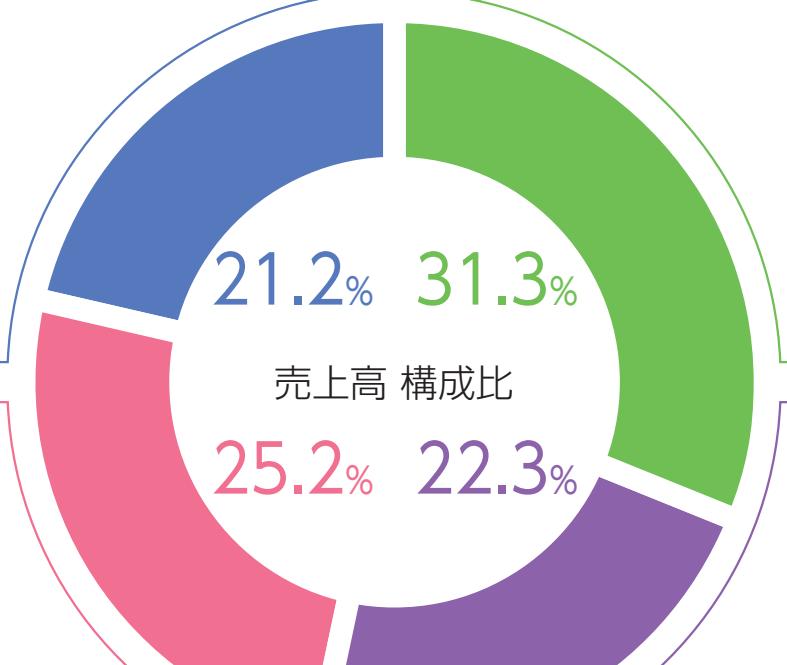
第2号議案 当社株式等の大規模買付行為に関する対応策(買収防衛策)更新の件

本件は、原案のとおり承認可決されました。

第3号議案 取締役に対する賞与支給の件

本件は、原案のとおり承認可決され、当期の業績等を勘案し、業績連動賞与として、期末の取締役8名に対し、総額32,000千円(うち社外取締役2名に対し総額1,300千円)の役員賞与を支給いたします。なお、各取締役に対する配分等の決定は、取締役会にて決議いたします。

セグメント別営業概況



機能製品事業

売上高 **276.5** 億円
(前期比88.5%)

PPS樹脂使用例(自動車用途) 炭素繊維(断熱材用途)

機能樹脂分野
炭素製品分野

PPS樹脂は電子・電気用途は低調も自動車用途と米国合弁事業が堅調でした。ふっ化ビニリデン樹脂は工業用素材用途の売上げは回復しましたが、リチウムイオン二次電池用バインダー用途は低迷しました。PGA(ポリグリコール酸)樹脂は米国工場の試運転関連費用が発生しました。これらにより機能樹脂分野は売上げが減少し、営業損失となりました。

太陽電池向けシリコン製造装置用断熱材用途、車載用リチウムイオン二次電池用負極材用途の需要はそれぞれ低迷が続き、炭素製品分野は売上げが減少し、営業損失となりました。

項目	99期	100期
売上高	312.5	276.5
営業利益	5.3	△21.3

樹脂製品事業

売上高 **409.0** 億円
(前期比108.6%)

家庭用ラップ「NEWクレラップ」 塩化ビニリデン・コンパウンド(食品包装フィルム用途)

樹脂製品事業

家庭用ラップ「NEWクレラップ」、ふっ化ビニリデン釣糸「シーガー」の売上げはともに増加し、コンシューマー・グッズ分野は増収増益となりました。

塩化ビニリデン・フィルム、熱収縮多層フィルム、多層ボトルは売上げが減少しましたがコスト削減をすすめ、欧州子会社は売上げは堅調でしたが原料高の影響等を受け、業務用食品包装材料分野の営業利益は前期並みとなりました。

包装機械の売上げは増加しましたが、中国向けの塩化ビニリデン・コンパウンドの売上げは減少し、その他分野は営業損失となりました。

項目	99期	100期
売上高	376.7	409.0
営業利益	22.2	29.8

コンシューマー・グッズ分野
業務用食品包装材料分野
その他分野

化学製品事業

売上高 **328.3** 億円
(前期比108.8%)

慢性腎不全用剤「クレメジン」 農業・園芸用殺菌剤「メトコナゾール」

医薬・農薬分野
工業薬品分野

抗悪性腫瘍剤「クレスチン」、慢性腎不全用剤「クレメジン」の売上げは堅調に推移し、「クレメジン」の後発品に関する特許権侵害訴訟の和解金収入がありました。農業・園芸用殺菌剤「メトコナゾール」の輸出は増加しました。これらにより医薬・農薬分野は増収増益となりました。

無機薬品類は、か性ソーダの売上げは回復しましたが、有機薬品類での原料価格が上昇し、工業薬品分野は増収減益となりました。

項目	99期	100期
売上高	301.8	328.3
営業利益	47.1	61.3

建設関連事業とその他関連事業

売上高 **291.6** 億円
(前期比99.7%)

環境事業(クレハ環境本社) エンジニアリング事業(プラント建設)

建設関連
その他関連

震災復旧関連工事が減少し、エンジニアリング業務の一部を環境事業に移管したため、売上げは減少しました。資材価格の上昇や外注労務費の上昇もあり、建設関連事業は減収減益となりました。

運送事業は競争激化により受注が減り、減収減益となりました。環境事業は災害廃棄物撤去管理業務等が増え、また、建設関連から業務の一部を移管したため増収となりましたが、廃棄物処理コストや経費の増加があり減益となりました。これらによりその他関連事業は増収減益となりました。

項目	99期	100期
売上高	292.5	291.6
営業利益	20.4	16.5



いっしょに笑顔。東日本応援プロジェクト

2011年3月11日に発生した「東日本大震災」は、東北地方に甚大な被害をもたらしました。当社は家庭用ラップ「NEWクレラップ」の売上の一部を、被災した地域の「農業の復興」と「食の再生」を支援する3つのプロジェクトに寄付しています。各プロジェクトの2012年度の活動の一部をご紹介します。

宮城県 菜の花プロジェクト

宮城県では津波の塩害により約1万ヘクタールの水田で作付けができなくなりました。東北大学では再び農業が行えるように、除塩につながる塩害に強い菜の花の育成に取り組んでいます。当社社員も種まきや実った菜種の収穫作業に参加しました。



ボランティアの皆さんによる種まき作業

見事に咲いた菜の花

岩手県 地域で支えあう食の復活プロジェクト

岩手県では東日本大震災によって、人々の食生活が大きく変わってしまいました。被災者の中には環境の変化から「食」を楽しむことを忘れてしまった方も少なくはありません。岩手県立大学盛岡短期大学部では「地域に根付く食教室」を開催し、被災者の皆さまに楽しい食を取り戻す機会を生み出しています。



大槌町や野田村で開催された、子供からお年寄りまで、多くの皆さんに楽しんでいただいた料理教室

福島県 元気な農業! F to Cプロジェクト

東日本大震災ならびに福島第一原子力発電所の事故によって、福島県の農業は大きな危機に直面しています。福島大学では、継続的な放射線の計測管理を実施。土壌の無放射能化対策を推進し、福島県産の農作物に安心と信頼を与えるシステムを構築します。

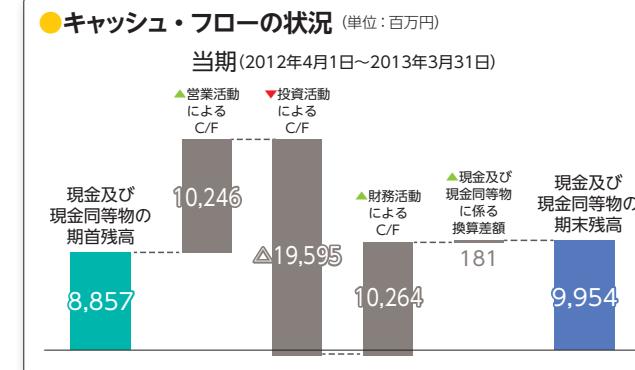
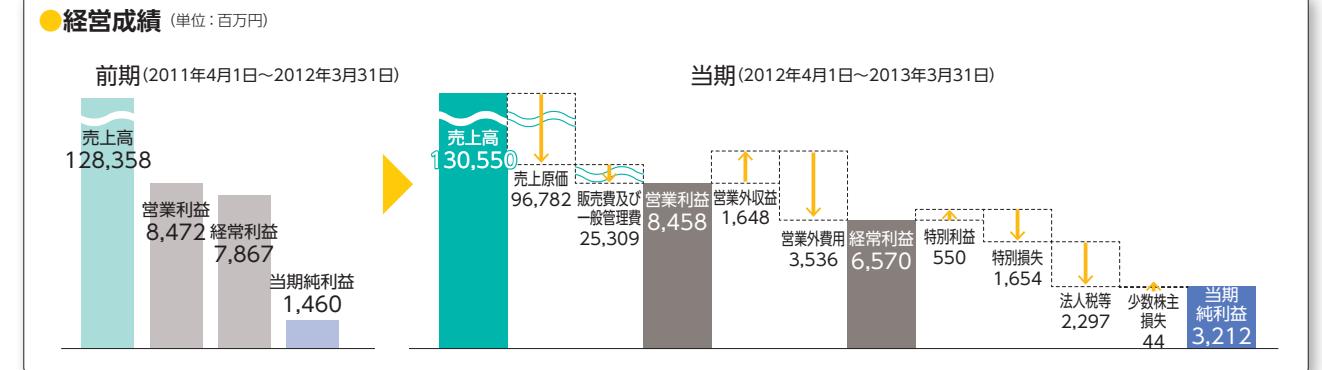
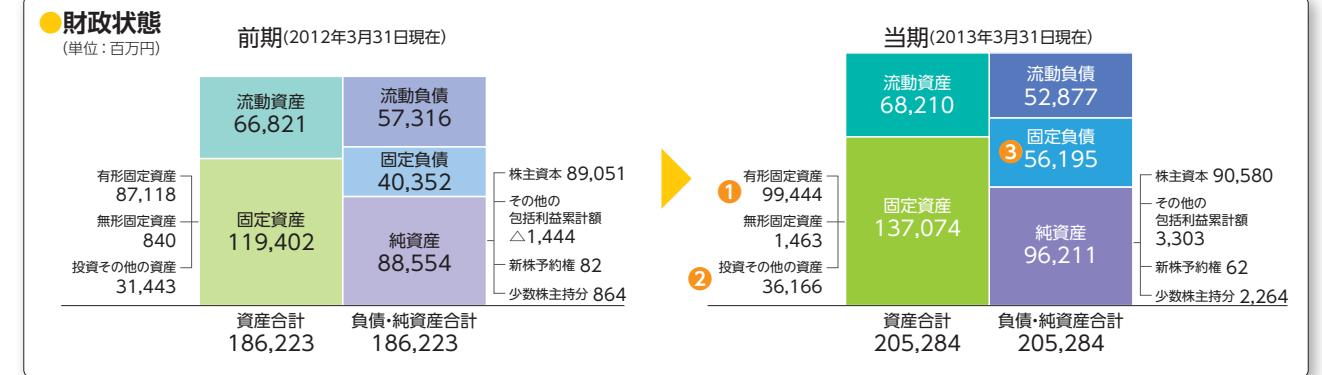
F to C : Farmers to Consumers
Fact to Confidence



環境放射線量の測定

丁寧に栽培され、安全が確認された美味しい果物

連結財務諸表(要旨)



- 1 有形固定資産**
海外生産拠点を含む高水準の設備投資で増加しました。
- 2 投資その他の資産**
投資有価証券等の期末時価が上昇し増加しました。
- 3 固定負債**
2018年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債を発行し増加しました。

会社概要／株式の状況

会社の概要 (2013年3月31日現在)

商号 株式会社クレハ
 英文社名 KUREHA CORPORATION
 本社 東京都中央区日本橋浜町3-3-2
 設立 1944年6月21日
 資本金 12,460百万円
 グループ従業員数 4,046名(単独:1,687名)
 連結対象会社数 39社(連結子会社37社、持分法適用会社2社)
 ホームページ <http://www.kureha.co.jp/>

役員 (2013年6月25日現在)

代表取締役社長 小林 豊
 代表取締役副社長 宗像 敬吉
 取締役専務執行役員 佐川 正
 取締役常務執行役員 松尾 修介
 社外取締役 竹田 恒治
 社外取締役 馬谷 成人
 常勤監査役 清輔 洋一
 常勤社外監査役 山口 治紀
 常勤監査役 佐藤 光男
 社外監査役 北村 大
 常務執行役員 紫垣 由城
 常務執行役員 福沢 直樹
 常務執行役員 山本 孝士
 執行役員 野田 義夫
 執行役員 吉田 徹
 執行役員 坂部 宏
 執行役員 齊藤 太
 執行役員 塩尻 泰規
 執行役員 田中 宏幸
 執行役員 佐藤 通浩
 執行役員 山田 文彦

株式の状況 (2013年3月31日現在)

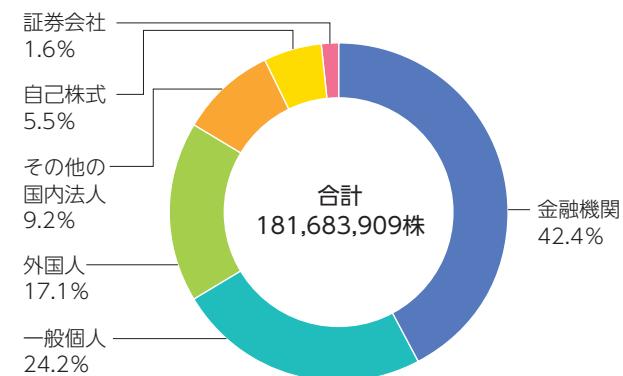
発行可能株式総数 600,000,000株
 発行済株式総数 181,683,909株
 株主数 17,485名

大株主の状況 (2013年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
明治安田生命保険相互会社	13,746	8.00
東京海上日動火災保険株式会社	10,696	6.23
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	9,699	5.65
第一三共株式会社	5,830	3.39
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,601	3.26
野村信託銀行株式会社(投信口)	4,249	2.47
株式会社みずほコーポレート銀行	4,000	2.33
ジュニーパー(サウジアラビア)	3,725	2.17
みずほ信託銀行株式会社	2,664	1.55
ジェーピー モルガン チェース バンク 385166(イギリス)	2,369	1.38

注) 当社は自己株式9,952千株を保有しておりますが、上記大株主から除いていません。また持株比率は自己株式を控除して計算しています。

株式の所有者別構成比 (2013年3月31日現在)



株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで 公告方法 当社のWebサイトに掲載します。
(<http://www.kureha.co.jp/ir/koukoku.htm>)
- 定時株主総会 6月 株主確定基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
その他必要がある時は、取締役会の決議によってあらかじめ公告します。
- 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲1-2-1
みずほ信託銀行株式会社

お問い合わせ内容	お問い合わせ先	
	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
● 氏名、住所などの変更 ● 単元未満株式の買取・買増請求 ● 配当金の受け取り方法、振込先の変更	お取引の証券会社にお問い合わせください。	※みずほ信託銀行証券代行部にお問い合わせください。
● 郵便物の発送・返戻に関するお問い合わせ ● 未払い配当金に関するご照会	※みずほ信託銀行証券代行部にお問い合わせください。	
● 特別口座から証券会社口座への振替え手続き		
※みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル:0120-288-324 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 ご来店窓口 みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ証券 本店、全国各支店および営業所 (未払い配当金に関するご照会については、みずほ銀行全国本支店でも取扱っています。)		

ホームページのご案内

<http://www.kureha.co.jp/>

当社Webサイトに「個人投資家のみなさまへ」を開設しております。
 身近にあるクレハ製品や業績の概況についてご説明しておりますので、ぜひご覧ください。

